

DII Program

'Solution Design Phase' SEMINAR

表題: 京都薬科大学発ベンチャー、コスメディ製薬を共同設立し、
「マイクロニードル」実用化で画期的な化粧品市場を創造

日時: 2021年11月26日(金) 16:30-18:00

場所: 名古屋大学 IB電子情報館 IB014講義室

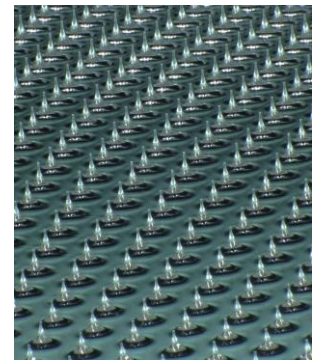
講師: 権英淑(ケン・エイシュク)氏(コスメディ製薬株式会社代表取締役社長)

言語: 日本語

概要:

京都薬科大学発ベンチャー、コスメディ製薬では皮膚本来成分であるヒアルロン酸を独自の成型方法で微細針化、2008年世界で初めて”貼る注射”のマイクロニードルを実用化しました(富士山ニードル™)。

安全性を考慮し注射に代わる手法として開発したヒアルロン酸マイクロニードルを美容分野に展開できないかと発想転換し、溶ける針コスメとして美容業界に衝撃を与えました。その市場は年々拡大し、日本国内だけで100億円規模に成長しています。さらに医薬品分野でもインフルエンザ・マイクロニードルワクチンを先行開発し、2028年の新薬承認を目指しています。「富士山ニードル」は1枚のシート上に数百本から数千本の長さ200 μ mの微細な針が林立し、肌に貼るだけで針が皮膚に入り、皮膚中の水分でニードル自身が溶解してスキンケア効果を発揮する全く新しいコンセプトの化粧品です。講義では日本留学から社長就任までの私の研究者人生についてもお話しします。



富士山ニードル™

略歴:

中国・吉林省出身。延辺大学(旧延辺医学院)卒。1994年、中国から留学生として来日。1999年京都薬科大学大学院で薬学博士を取得後、海外製薬メーカー(英国/中国製薬会社)、および国内製薬、化粧品会社のR&D技術コンサルタントとして活動すると共に、京都薬科大学を拠点にしてドラッグ・デリバリー・システム(DDS)の研究に従事。2001年、現・代表取締役会長の神山文男氏と共に、コスメディ製薬株式会社を創立し、2021年9月に代表取締役社長に就任。

※事前申し込み (ichiro.nishimoto@dii.engg.nagoya-u.ac.jp)